

平成23年度  
(第32期事業年度)  
事業報告

JAFBIC

一般社団法人日本食品・バイオ知的財産権センター

# 平成23年度（第32期事業年度）事業報告

一般社団法人 日本食品・バイオ知的財産権センター

## 事業報告

### 1. 委員会活動について

#### (1) 特許委員会

山下 哲也	委員長	日本水産(株)	新任
樋渡 史明	副委員長	(株)アリミノ	新任
三好 健太郎	副委員長	ヤマサ醤油(株)	重任
砂堀 諭	副委員長	カゴメ(株)	重任
高橋 惣治	副委員長	エスビー食品(株)	重任

委員： 71社、 22特許法律事務所、 157名

△ 5月12日 15:15~16:50 生涯学習センター 25社、4特許法律事務所、32名

#### 特許委員会総会

- ・専務理事挨拶
- ・優秀発明推薦委員会委員長の代理として専務理事より各賞の内容説明と推薦依頼
- ・関西委員会の平成22年度活動報告及び平成23年度活動計画説明
- ・平成22年度活動報告・会計報告
- ・新規加入会員紹介
- ・新役員選任及び新委員長、新副委員長挨拶
- ・前委員長及び前副委員長、退任挨拶
- ・平成23年度活動方針及び活動計画・グループ編成の説明
- ・グループ編成についてリーダー、サブリーダーの選出が行なわれた。

第1グループ：グループリーダー	田澤 陽子 (味の素(株))	新任
サブリーダー	渡辺 宏 (株)明治)	新任
第2グループ：グループリーダー	有馬 昌広 (麒麟ホールディングス(株))	新任
サブリーダー	中村 充利 (ユアサハラ法律特許事務所)	新任
第3グループ：グループリーダー	相原 礼路 (相原特許商標事務所)	新任
サブリーダー	川井 康弘 (サンスター(株))	新任
第4グループ：グループリーダー	二間瀬 覚 (オンダ国際特許事務所)	新任
サブリーダー	藤原 靖士 (ハウス食品(株))	新任
第5グループ：グループリーダー	吉成 崇 (株)大塚製薬工場)	新任
サブリーダー	榎本 慎一 (月島食品工業(株))	新任

- ・特許庁特許審査第三部生命工学 食品・微生物室 滝口室長ご挨拶・ご講演

演題：「特許庁の最近の動向」

化粧品及び食品・微生物分野を担当する審判部第 33 部門が新設されたこと、中国との特許審査ハイウェイについて試験導入が開始されること、特許庁ウェブサイトにおける審査着手時期の予想が 1 年から半年単位での発表となったこと、特許庁からの個別企業への意見交換のお願いを行っていること等についてご紹介があり、出席者からも活発な質問があった。

△ 7 月 1 日 14:30～16:30 特許庁 16 社、20 名

#### 特許庁見学会

・16 階の大審判廷にて総務部総務課広報班長の小野課長補佐から特許庁の取り組みに関するご説明を受けた後、小野様及び総務課広報班の馬場広報第二係長のご案内で、2 班に分かれて、特許審査、(独)工業所有権情報・研修館、及び意匠審査を見学させて頂いた。

△ 9 月 16 日 14:00～17:00 駐健保会館 35 社、5 特許法律事務所、54 名

#### 特許庁審判部との連絡協議会

・テーマ：「審判の現状と課題について」

「平成 22 年度特許性検討会におけるバイオ関連審判決について」

「最近の食品関連審判決」

特許庁出席者：審判部第 22 部門 部門長	鵜飼 健 氏
審判部審判企画室 室長	前田 仁志氏
同 審判企画室 課長補佐	筑波 茂樹氏

△ 10 月 6 日～7 日 日清食品ホールディングス (イベントホール) 32 社、71 名

#### 特許講座

講師： 坂野国際特許事務所 所長・弁理士 坂野 博行氏

・第 1 日目の午前には、発明の発掘方法、特許出願書類を作成する際の留意点等についての講義が行われ、知的財産権制度の概要、発明の発掘、特許出願への準備、特許出願書類等について、講師ご自身の経験をふまえて解説いただいた。午後からは、食品関連の論文を題材とする実習が行われた。事前に配布された論文「タマネギ搾汁液によるカットレタスの褐変阻害機構」(日本食品保存科学雑誌 Vol. 28, No. 1, pp3-8 (2002))の内容を各自検討し、「発明発掘シート」を作成する個人学習を行った。その後、1 グループ 4～5 名ずつ計 14 グループに分かれ、上記論文に記載の発明の特徴、効果等を各グループ内で話し合うことで、発明発掘プロセスの理解を深めるためのグループ学習を行った。第 2 日目の午前には、前日に引き続きグループ学習形式で、上記論文に記載の発明の「特許請求の範囲」を作成した。午後には、2 つのグループが 1

つのテーブルに対峙して座り、「特許請求の範囲」について意見交換する「しゃべり場」が開催され、活発な議論がなされた。各テーブルには、本講座のスタッフが2名ずつ加わり、活発な議論がなされた。その後、最後に講師によるまとめの講義が行われて終了した。

△ 11月9日 14:00～17:00 サントリー研修センター（川崎市）  
27社、1特許法律事務所 54名

**特別セミナー**（企画：特許情報研究部会）

演題：「FI、Fタームの使い方（食品分野の具体的事例を通じて）」

講師： スマートワークス株式会社 代表 酒井 美里氏

特許検索競技大会優勝の経験を持つ講師から、FI、Fタームの基礎知識に関する解説のほか、Fタームによるアプローチも含む具体的な検索手順、手法、調査のポイント等、極めて実践的な解説がなされた。

△ 11月11日 14:00～17:00 駐健保会館 34社、4特許法律事務所 47名

**特許庁審査部との連絡協議会**

特許庁講師：特許庁審査第三部生命工学審査監理官 滝口 尚良氏  
食品・微生物技術担当室長 平塚 政宏氏  
生命工学審査官 鶴 剛史氏  
生命工学審査官 幸田 俊希氏

演題1. 「特許行政の最近の動向について」 講師：滝口 尚良氏

演題2. 「特許法第36条基準改定について」 講師：幸田 俊希氏

演題3. 「特許審査の品質監理について」 講師：平塚 政宏氏

事前質問についてのご回答 講師：鶴 剛史氏

また、JAFBIC側からも、(株)大塚製薬工場 吉成崇氏より事前に特許庁よりご要望いただいた JAFBIC 会員企業における知財戦略に関するアンケート結果が報告されるとともに、会員企業における知財管理業務の一例として、自社の事例が紹介された。

△ 12月1日～2日 福井県 福井県工業技術センター他  
21社、7特許法律事務所、 36名

**関東・関西合同特許委員会**

1. 講演会及び意見交換会

（メインテーマ：「福井の産学官による技術開発と特許保護の取組み」）

①演 題：「福井県工業技術センターの取組み」

講 師：福井県産業労働部技官 工業技術センター所長 宮崎 孝司氏

②演 題：「株式会社コバートの特許戦略管理」

講師：(株)コバート代表取締役・(一社) 福井県発明協会会長 小林 将男氏  
③演題：「福井大学の産学官連携活動」

講師：国立大学法人福井大学 産学官連携本部本部長・教授 山本 嵩勇氏

## 2. 施設見学

福井県工業技術センター、大本山永平寺御用達「米五のみそ」工場（福井市）、常山酒造（福井市）、一乗谷朝倉氏遺跡を見学した。

△ 2月9日～10日 東京都立産業貿易センター浜松町館 31社、70名

### 特許講座

講師： 坂野国際特許事務所 所長・弁理士 坂野 博行氏  
・実習の題材となる論文を「加熱・ペースト化したキノアテンペの食パン素材としての利用」（日本家政学会誌 Vol. 58, No. 1, pp35-39(2007)）に変更した他は前回（10月6日～7日）と同様に、講演・実習が行なわれた。

△ 3月1日 13:30～17:30 日清食品ホールディングス（イベントホール）

42社、8特許法律事務所、92名

### 特別研究部会・研究成果発表会

各部会より、部会紹介のあと研究テーマにつき詳細な発表があった。

#### 1. 特許情報研究部会

サントリーホールディングス(株) 町谷 賢広氏より部会紹介

- ・ 検索事例研究 日本水産(株) 橋口 和史 氏  
月桂冠(株) 福田 克治 氏
- ・ 海外検索事例研究 日清オイリオグループ(株) 生稲 淳一 氏

#### 2. 特許法研究部会

月島食品工業(株) 榎本 慎一氏より部会紹介

- ・ 「平成23年度特許法改正～冒認出願・共同出願違反に係る真の権利者の救済制度の整備について」 キリンホールディングス(株) 小川 かおり氏  
キューピー(株) 石川 範行 氏  
アサヒ飲料(株) 山藤 裕 氏

#### 3. 用途発明研究部会

(株)明治 越膳 浩氏より部会紹介があり、続いて演題「用途発明に関する事例検討及び特許庁への取り組みについて」に関する発表及び説明が行なわれた。

#### 4. 特許管理研究部会

(株)ニチレイフーズ 梶 成弘氏より部会紹介

- ・ 「知財活動推進における、知財部門の組織と活動の在り方」（平成22年度の続編）  
(株)明治 藤川 弘之 氏

◎ [特許委員会ニュース] 第 263 号 (4 月 1 日) ～第 274 号(3 月 1 日)まで発行

## (2) 意匠委員会

松岡 久夫	委員長	クラシエホールディングス(株)	重任
高本 知己	副委員長	サントリーホールディングス(株)	重任
堀内 香菜子	副委員長	英知国際特許事務所	重任
田畑 正夫	顧問		重任
池田 泉	顧問		重任
委員 :	23 社、	8 特許法律事務所、	49 名

△ 10 月 12 日 14:20～17:00 芝浦港南区民センター (港区)

10 社、6 特許事務所、19 名

### 意匠委員会

#### ・第 1 部 連絡会

執行部より、平成 22 年度活動報告と平成 23 年度活動計画の説明、並びに「定例勉強会」発足に向けての補足説明が行なわれ、活発な意見交換が行われた。

#### ・第 2 部 特許庁審査業務部との連絡協議会

特許庁講師 特許庁審査業務部 生活用品 上席総括審査官 小林 裕和氏  
産業機器審査官 (意匠審査基準室) 正田 毅氏  
意匠課企画調査係長 山永 滋氏

#### (1) 意匠制度の近況について

特に包装用容器分野について、出願、部分・関連・秘密請求等の近況をご説明頂いた。

#### (2) 意匠審査基準の改定内容の要点について

部分意匠の図面提出の要件の見直し、図面デザインの登録要件の明確化についてご説明頂いた。

#### (3) 第 2 回日中韓デザインフォーラムの概要紹介

#### (4) 当センター会員から事前に提出した質問への回答

前回の委員会での質問・要望事項 (H23. 3. 11 実施予定で東日本大震災の影響により延期したもの) に加え、新たな質問事項を事前にお伝えしたところ、とても丁寧で具体的で分かり易い解説を頂いた。

△ 2 月 29 日 14:30～17:00 男女平等参画センター (港区)

23 社、3 特許事務所、31 名

**講演会 :** 「意匠の類否判断と保護戦略 ～基本とパッケージ意匠への応用～」

ー正当理由および使用の準備を絡めてー」

講師： 創英国際特許法律事務所 弁理士

佐藤 英二氏

### (3) 商標委員会

和泉 守計	委員長	ハウス食品(株)	重任
皆葉 純子	副委員長	アサヒビール(株)	重任
大國 寿香	副委員長	味の素(株)	重任
山本 敬一	副委員長	サントリーホールディングス(株)	新任
柏原 歩	副委員長	トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)	重任
松本 啓子	副委員長	日清食品ホールディングス(株)	新任
天本 麻美	副委員長	日本ハム(株)	新任
長谷川 智紀	副委員長	森永製菓(株)	重任
鈴木 隆之	副委員長	(株)ヤクルト本社	重任

委員： 90 社、 18 特許法律事務所、 214 名

△ 4月21日 14:00～17:00 芝公園福祉会館 36社、4特許事務所、65名

#### 商標委員会総会

- ・平成22年度活動報告・会計報告
- ・平成23年度正副委員長選出及び新旧委員長・副委員長挨拶
- ・平成23年度活動計画について
- ・商標実務研究部会及び海外商標実務研究部会からの成果発表

##### (1) 商標実務研究部会

「平成22年度活動報告」

「平成23年度新幹事の紹介及び参加者募集のお知らせ」

キッコーマン(株) 西村氏

オリエンタル酵母工業(株) 熊谷氏

(株)明治 関根氏

##### (2) 海外商標実務研究部会

「平成22年度活動報告」

「平成23年度新幹事の紹介及び参加者募集のお知らせ」

(株)大塚製薬工場 朝日氏

津国特許事務所 弁理士 葦原エミ氏

△ 7月7日 14:00～17:00 芝公園福祉会館(港区) 43社、1特許法律事務所、57名

講演会： 「不使用取消審判を受けた場合の注意点

ー正当理由および使用の準備を絡めてー」

講師： (業) 松田特許事務所 弁理士

近藤 史代氏

△ 10月27日～28日 福岡市 西鉄グランドホテル

32社、3特許法律事務所、37名

### 関東・関西合同商標委員会

#### 1. 各委員会からの活動報告

関西委員会商標グループ 林リーダー(白鶴酒造(株))

商標委員会 和泉委員長(ハウス食品(株))

国内商標部会 斎藤氏(花王(株))

海外商標部会 鈴木氏(株ヤクルト本社)

#### 2. 講演会：「九州のブランド ー創造と戦略ー」

講師：松尾特許事務所 所長・弁理士

松尾 憲一郎氏

#### 3. 施設見学

(株)ふくや 明太子工場を見学した。

△ 12月13日 14:00～17:30 日清食品ホールディングス(株)イベントホール

50社、3特許法律事務所、74名

### 特許庁審査業務部との連絡協議会

特許庁講師：特許庁審査業務部 商標課 食品審査室室長 青木 博文氏

商標審査基準室長 平山 啓子氏

食品審査室 前任上席審査官 薩摩 純一氏

商標審査基準室 課長補佐 豊田 純一氏

食品審査室 審査官 茂木 祐輔氏

食品審査室 審査官補 深田彩紀子氏

食品審査室 審査官補 佐藤緋呂子氏

食品審査室 審査官補 石井 亮氏

#### (1) 類似商品・役務審査基準「国際分類第10版対応」について

平山商標審査基準室長及び豊田商標審査基準室課長補佐より、2012年1月1日以降の出願に適用される類似商品・役務審査基準「国際分類第10版」の内容、及び食品関連の分類に関する変更点についての概要をご説明頂いた。

#### (2) 参加企業の商標実務紹介

(株)ファンケルの菱木氏、アサヒグループホールディングス(株)の上野氏から、各社の実務及び事例の紹介があった。

#### (3) 最近の商標政策について

青木食品審査室室長より、地域団体商標等のブランド戦略、商標を取り巻く環境の変化に対応した保護のあり方、国際的な権利保護に向けた支援等について



てご説明頂いた。

△ 3月6日 14:00～17:00 芝公園福祉会館（港区）43社、1特許法律事務所、57名

#### 特許庁審査業務部との連絡協議会

特許庁講師：

特許庁審査業務部	商標審査基準室長	平山 啓子氏
	食品審査室 前任上席審査官	薩摩 純一氏
	商標審査基準室 課長補佐	豊田 純一氏

「類似商品・役務審査基準〔国際分類第10版対応〕の改正」について、ご説明頂いた後、会員から寄せられた実務上の質問事項について個別にご説明頂いた。

#### 「マドリッド制度の概要及び関連サービス」についての説明会

講師：世界知的所有権機関（WIPO）日本事務所 阿曾 裕樹氏

#### 商標実務研究部会

△ 5月27日 14:00～17:00 男女平等参画センター 29社、6特許法律事務所、43名

- ・ 幹事からの連絡
- ・ 出席者自己紹介
- ・ 商標法に関する基本項目の確認、意見書の構成に関するグループワーク等

△ 7月28日 14:00～17:00 芝公園福祉会館 26社、5特許法律事務所、39名

- ・ 部会初参加の方の自己紹介
- ・ 商標法第4条第1項11号に対する理解の再確認
- ・ グループワーク： ー商標法第4条第1項11号に対する意見書の構成についてー
- ・ 「類似群コード&備考類似」に関するドリル（12問）

△10月6日 13:30～16:30 三田いきいきプラザ（港区）

26社、6特許法律事務所、37名

- ・ 事例紹介 ～商標の類否について～
- ・ パロディ商標への対応についてのグループワーク等

△ 1月20日 13:30～16:30 芝公園福祉会館（港区）

38社、3特許法律事務所、50名

#### 東薬工商標部会との交流会

- ・ グループワーク：使用による自他商品等識別機能の獲得（第3条第2項）について
- ・ 事例紹介 5類薬剤と32類清涼飲料の商品類似についてー 大正製薬(株) 中氏
- ・ 情報提供 新規承認医薬品名称類似回避フローチャートについて

△3月9日 13:30～17:00 キッコーマン(株)野田本社他 21社、2特許法律事務所、28名

1. 工場見学：キッコーマン(株)もの知りしょうゆ館工場
2. 部会：商標お悩み相談会

#### 海外商標実務研究部会

△ 6月7日 13:30～16:45 三田いきいきプラザ 30社、6特許法律事務所、40名

- ・平成23年度部会の進め方の説明
- ・平成22年度の活動報告及び会計報告
- ・経済産業省製造産業局模倣品対策・通商室の墳崎隆之弁護士より、最近の中国における法整備・模倣品対策の動向、日中政府間ワーキンググループの活動状況、ネット上の知的財産権侵害・冒認出願・商号問題等に対する日本政府の取り組み等についてご紹介頂いた。
- ・事例紹介

△ 7月29日 14:00～16:45 芝公園福祉会館 25社、2特許法律事務所、30名

健康食品市場の拡大等、医薬品業会と食品業界の垣根が低くなってきている昨今、海外商標実務においても、医薬品業界との意見交換は貴重な機会であるため、東京医薬品工業協会会員4社の担当者4名の方にご参加頂いた。

- ・東京医薬品工業協会から参加の4社の方のご挨拶
- ・事例紹介

△ 12月7日 14:00～17:30 森永製菓(株)鶴見工場 (横浜市)

27社、2特許法律事務所、36名

- ・事例紹介
- ・6月の部会でご講演頂いた経済産業省製造産業局模倣品対策・通商室の墳崎隆之弁護士に再度ご参加頂き、中国政府の各機関との話し合いの状況、ワーキンググループの活動報告など最近の日中政府間の模倣品対策に関する取り組みについてご報告頂いた。

△ 3月16日 14:00～16:45 芝公園福祉会館 24社、4特許法律事務所、33名

- ・6月、12月の部会でご講演頂いた経済産業省製造産業局模倣品対策・通商室の墳崎隆之弁護士と同室の速水雄太模倣対策専門官にご参加頂き、模倣品対策室の最新の取り組みと中国の侵害摘発に関する情報についてご講演頂いた。
- ・事例紹介

- ・年度替わりによる幹事交代の挨拶

#### (4) 関西委員会

日下 要	委員長	江崎グリコ(株)	重任
大城 健治	副委員長	トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)	重任
加藤 正樹	顧問	日清食品ホールディングス(株)	重任
青木 良彦	顧問	大関(株)	重任
齋藤 岳之	顧問	ロート製薬(株)	重任
西岡 浩二	顧問	(株)マークアイ	重任
委員	特許グループ 39社、71名：リーダー	水沼 聡 (株)カネカ)	
	商標グループ 56社、95名：リーダー	林 健太郎 (白鶴酒造(株))	

△ 4月15日 13:30~19:00 メルパルク大阪 30社、3特許法律事務所、57名

#### 関西委員会設立 20周年記念総会

- ・委員長挨拶
- ・専務理事挨拶
- ・平成22年度特許・商標各グループ活動報告並びに会計報告
- ・役員改選

委員長、副委員長を上記のとおり承認し、上記リーダーに加えて各グループのサブリーダーを次の通り選任した。

・特許グループ	サブリーダー	高尾 佳史 (菊正宗酒造(株))	新任
	サブリーダー	伊東 亜祐 (大塚製薬(株))	新任
・商標グループ	サブリーダー	杠 茂樹 (オハヨー乳業(株))	重任
	サブリーダー	株元 陽子 ((株)神戸風月堂)	新任

- ・平成23年度特許・商標各グループ活動計画案承認
- ・特許委員会越膳前委員長より、特別研究部会の紹介。

なお、今年は東日本大震災に伴い特許委員会総会が延期となっていたため、特許委員会の平成22年度活動報告と平成23年度活動計画案についての説明は割愛された。

#### 20周年記念式典

- ・安部康久 JAFBIC 副会長 (月桂冠(株)) 挨拶
- ・日下委員長より、関西委員会においてこれまでご尽力頂いた以下の方々をご紹介し、感謝状と記念品を贈呈した。

安部 康久氏 (JAFBIC 副会長)

藤永 武氏 (OB)

加藤 智一氏 (OB)

加藤 正樹氏 (JAFBIC 常任理事)  
大町 敬良氏 (OB)  
堀 晃明氏 (平成 15・16 年度関西委員長)  
青木 良彦氏 (平成 17・18 年度関西委員長) ※懇親会時に贈呈  
齋藤 岳之氏 (平成 19・20 年度関西委員長)  
古池 俊彦氏 (JAFBIC 常任理事) ※懇親会時に贈呈

最後に、受賞者を代表して藤永氏よりご挨拶を頂いた。

**講演会：** 「知的財産権と企業戦略 ―裁判官的見地からの訴訟戦略のアドバイザー」  
**講師：** 長嶋・大野・常松法律事務所 弁護士 三村 量一氏

△ 7 月 22 日 13:45～19:00 ドーンセンター 27 社、2 特許法律事務所、 47 名

**特許・商標グループ合同委員会**

**講演会：** 「知財制度を包括的に活用した商品形態保護のありかた」  
**講師：** レクシア特許法律事務所 弁護士・弁理士 山田 威一郎氏

△ 9 月 9 日 14:00～19:00 ドーンセンター 31 社、1 特許法律事務所、 39 名

**委員会 (商標グループ)**

・商標セミナー (関西委員会商標研究会 発表会)

- (1) 『『さくさくぱんだ』デザインのトートバッグへの対処』  
カバヤ食品(株) 田淵氏
- (2) 「主力商品『眠眠打破』について」 (株)ノエビア 長谷川氏
- (3) 「商標とブランド」 (株)ポッカコーポレーション 山本氏
- (4) 「身近な題材から商標業務のヒントを探してみる  
～21 世紀生まれの新しい地名を材料に (2)～」 江崎グリコ(株) 日下氏

△ 1 月 13 日 13:45～19:00 ドーンセンター 29 社、1 特許法律事務所、 41 名

**特許・商標グループ合同委員会**

・講演会： 「特許・商標の戦略テクニック」

**講師：** 小林国際特許商標事務所 所長・弁理士  
株式会社知財経営総研 代表者 小林 正樹氏

△ 2 月 9 日 13:45～19:00 ドーンセンター 11 社、1 特許法律事務所、 21 名

**特許庁審査部との連絡協議会**

特許庁講師：特許庁審査第三部生命工学 蛋白質工学担当室長 平塚 政宏氏  
審査官 藤井 美穂氏

審査官

幸田 俊希氏

演題 1. 「特許行政の最近の動向について」

演題 2. 「特許法第 36 条審査基準改訂について」

演題 3. 「特許審査の品質監査について」

- ・その他、事前に集約した質問事項への回答も頂き、特にその中から 2003 年の特許法改正に伴い無効審判に一本化された特許異議申立制度の復活要否を中心に活発なディスカッションが行われた。

△ 3 月 8 日 14:00～19:00 ドーンセンター 18 社、1 特許法律事務所、 24 名

#### 特許庁審査業務部との連絡協議会

特許庁講師：特許庁審査業務部

先任上席審査官

薩摩 純一氏

上席審査官

豊田 純一氏

演題：「商標行政を巡る最近の動向について」

①迅速かつ的確な審査処理について

②新しいタイプの商標（音、ホログラム、動き等）、証明商標の検討について

③類似商品・役務審査基準の見直しについて

④商標三極会合、WIPO における議論について

- ・その後、JAFBIC 会員から、江崎グリコ(株)、菊正宗酒造(株)の担当者が食品業界の商標実務について事例紹介した。
- ・その他、事前質問への回答も頂いた。

#### (5) 模倣品対策委員会

野方 健一郎

委員長 (株)ヤクルト本社

重任

竹本 一志

副委員長 サントリーホールディングス(株)

重任

委員： 18 社、 6 特許法律事務所、 41 名

△ 7 月 25 日 14:00～16:45 生涯学習センター（港区）18 社、3 特許法律事務所、27 名

#### 委員会

- ・平成 22 年度活動報告、会計報告及び平成 23 年度活動計画説明

- ・講演会： 「模倣被害の現状とその対策について」

講師： 特許庁総務部国際課課長補佐（模倣品対策班長）

長橋 良浩氏

- ・昨年実施された模倣被害実態調査のアンケート結果を基に、模倣品・海賊版被害の現状についてご説明頂いた。
- ・模倣品問題に対する特許庁の施策紹介の他、国際的な取り組みとして ACTA（仮称：模倣品・海賊版拡散防止条約）、日中政府間協議、最新の中国政府の取組状況についてご説明頂いた。

- ・その他、模倣品に関する各種支援機関、政府模倣品・海賊版対策窓口をご紹介頂き、また、活発な質疑応答を行った。

△ 9月28日 14:30～16:50 芝公園福祉会館（港区）15社、3特許法律事務所、23名  
**委員会**

- ・模倣品対策委員会の活動に対するアンケート実施についての説明と協力要請
- ・最近のJAFBICの活動報告及び活動予定の説明
- ・**講演会：** 「中国における日本化粧品工業連合会の模倣品対策について」  
**講師：** 花王株式会社 ブランド法務部 課長 宮川 博之氏
- ・日本化粧品工業連合会 模倣対策小委員会の活動についてご説明頂いた。
- ・上海IPG（知的財産問題研究グループ）化粧品WGの活動についてご説明頂いた。
- ・最近、特に問題となっているインターネット販売（オークションサイト等）における模倣品対策、欧米の化粧品会社との模倣品対策に関する連携についてご説明頂いた。
- ・その他、花王の中国における模倣品対策についてご紹介頂き、また、活発な質疑応答を行った。

△ 3月28日 13:30～17:00 日清食品カップヌードル・ミュージアム（横浜市）  
25社、1特許法律事務所、38名

#### **委員会**

- ・連絡事項：野方委員長より、本委員会と併せて行った模倣品対策委員会の運営方針に関するアンケート調査の結果報告及び来年度の活動についての説明があった。
- ・**講演会：** 「日清食品における模倣品対策について」  
**講師：** 日清食品ホールディングス(株) 加藤 正樹氏  
(当センター常任理事)

## **2. 食品・バイオに係る知的財産権に関する資料の収集及び提供**

### (1) 商標出願抄録速報の提供と閲覧業務

- A 平成23年度商標速報（商品）提供数  
133組（前年140組）
- B 平成23年度商標速報（役務）提供数  
9組（前年11組）
- C 調査依頼 0件

### (2) 「拒絶文字商標集」の提供

- 冊子 0組 CD 0組

(3) 食品・バイオ技術情報の提供

平成23年度提供数 会員32組、非会員3組、計35組（前年36組）

(4) 特許公報抄録集の提供

平成23年度提供数 会員11組（前年11組）

(5) 機関誌「食品特許」の提供

機関誌編集委員会： 中村 宣夫 委員長 日本水産(株)

平成23年度提供数

5,6月号	294冊
7,8月号	294冊
9,10月号	292冊
11,12月号	291冊
1,2月号	291冊
3,4月号	292冊

○ 編集委員会（機関誌編集、出版のため隔月、各号毎にセンター会議室にて開催）

(6) 食品商標審決抄録集の提供

2008年（平成20年）1月から2009年（平成21年）12月までの期間に発行された審決公報の中から食品関係（第29類～第33類）の審決を抜粋し、当センター機関誌「食品特許」第166号から第177号に掲載された食品商標審決紹介648件をまとめた「食品商標審決抄録集（第3巻）」をCD版を主体として発行した。

平成23年度提供数 会員32組、非会員8組 計40組

（内第1巻1冊、第2巻3冊、第2巻CD2枚、第3巻CD21枚、第3巻13冊）

### 3. 食品・バイオに係る知的財産権に関する講演会の開催

講演会準備委員会： 加藤 正樹 委員長 日清食品ホールディングス(株)

#### △第1回：「発明の日」記念講演会

日時： 4月20日 13:30～17:00

場所： 日清食品ホールディングス（イベントホール）

テーマ： 「特許情報の利用・活用方法について」

講師： (株)戦略データベース研究所 所長・工学博士

鶴見 隆氏

参加者： 27社、34名

#### △第2回：講演会

日時： 6月6日 14:00～17:00

場所： 日清食品ホールディングス（イベントホール）

テーマ： 「立体商標制度を巡って～ヤクルト容器立体商標事件を中心に～」

講師： (業) 清水・醍醐特許商標事務所 所長・弁理士

清水 徹男氏

参加者： 32 社、6 特許法律事務所、 52 名

#### △第3回：講演会

日 時： 11 月 9 日 14：30～17:00

場 所： 日清食品ホールディングス（イベントホール）

テーマ： 「欧州共同体商標出願（CTM）の概略及び欧州商標の最近の判決例（特に立体商標・包装商標）について」

講 師： ミューバン・エリス特許事務所パートナー

欧州商標弁理士・英国商標弁理士

ソフィア アレナル氏

参加者： 18 社、10 特許法律事務所、 32 名

#### △第4回：講演会

日 時： 12 月 12 日 14：00～17:00

場 所： 日清食品ホールディングス（イベントホール）

テーマ： 「23年度特許法改正とその背景」

講 師： 阿部・井窪・片山法律事務所パートナー

弁護士・弁理士

片山 英二氏

参加者： 20 社、1 特許法律事務所、 33 名

### 4. 食品・バイオに係る知的財産権に関する指導相談

平成 23 年度

(1) 商標の特別顕著性の有無 ……………	0 件
(2) 既登録商標（先願商標）の有無 ………	0 件
(3) その他（特・実） ……………	0 件
合 計	0 件

### 5. 食品・バイオに係る知的財産権に関する紛争解決の相談

平成 23 年度は特に明記する相談はなかった。

### 6. 食品・バイオに係る知的財産権に関する行政に対する協力

普及企画委員会： 重兼 彰夫 委員長 森永乳業(株)

#### (1) 産業構造審議会 知的財産政策部会 商標制度小委員会 委員派遣

本年度も特許庁より「産業構造審議会 知的財産政策部会 商標制度小委員会（委員長：土肥一史 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）」への委員派遣を依頼され、商標委員長 和泉 守計氏（ハウス食品(株)）を委員として派遣した。派遣を許可いた



いただいたハウス食品㈱様に感謝致します。

## (2) 特許庁審判部主催 審判実務者研究会（旧特許性検討会） 委員派遣

特許庁審判部では、本年度はこれまでの特許性検討会を拡大改組するとともに、「審判実務者研究会」と改称し、従前の特許の事例のほか、意匠・商標も検討対象に加え、また審判手続について意見交換を行う分科会も設置することとなり、本年度も当センターから委員を派遣するよう要請があり、キリンホールディングス㈱の徳川和久氏を委員として派遣した。派遣を許可いただいたキリンホールディングス㈱様に感謝致します。

## 7. 優秀発明の推薦

優秀発明推薦委員会： 古池 俊彦 委員長 江崎グリコ㈱

### (1) 平成 24 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞の受賞候補者の推薦

特許委員会にて候補者推薦を依頼し、また会員各社、理事各位にも推薦を依頼し、1件応募したが、受賞に至らなかった。

### (2) 平成 23 年度 安藤百福賞受賞候補者の推薦

特許委員会にて候補者推薦を依頼し、また会員各社、理事各位にも推薦を依頼した結果、ライオン㈱の杉山圭吉氏の「ラクトフェリンの内臓脂肪低減効果に注目した機能性食品『ナイスリムエッセンス ラクトフェリン』の開発」を推薦し、優秀賞を受賞した。

## 8. 公益法人改革に伴う当センター一般社団法人化への取り組み

当法人は、一般社団法人化を目指して、特許庁のご指導を仰ぎつつ、準備作業を進めた結果、5月23日開催の第31回通常総会における承認の機関決定を経て、8月25日に内閣府認定等委員会に移行申請書類を提出し、3月に移行認可を得て、無事に4月1日付で特例民法法人から一般社団法人への移行登記を完了させるに至った。これも一重に特許庁始め関係各方面の方々のご尽力によるものと、この場をお借りして、お礼申し上げます。

## 9. 産学連携による知的財産支援業務

理事長指揮のもと、取り組んでおり、一昨年来、岩手県の食品企業数社と県庁・市役所等にコンタクトし、推進したが、昨今の経済情勢から、現在までのところ成約には至っていないが、若干、明るい兆しが見えてきている。

一方、専務理事が、北海道十勝地方において文部科学省の補助事業として産官学連携を進めている(財)十勝圏振興機構(通称:とち財団)(昨年5月に賛助会員として当

センターに入会) から同機構の知的財産ワーキンググループ委員を委嘱され、同財団の活動に協力している。

## 10. 会員の入退会状況

入退会	入退会数	区 分	会社・事務所名	所在地
入 会	1	賛助会員	松井特許事務所	東京都中央区
	2	〃	キリン協和フーズ(株)	東京都品川区
	3	〃	みなとみらい特許事務所	神奈川県横浜市
	4	〃	大原法律事務所	東京都千代田区
	5	正会員	(株)マルハニチロホールディングス	東京都江東区
	6	賛助会員	ネクサスコンパス知的財産事務所	東京都江東区
退 会	1	正会員	キリンビバレッジ(株)	
	2	〃	ニッカウキスキー(株)	
	3	〃	合同酒精(株)	
	4	〃	常盤薬品工業(株)	
	5	〃	六甲バター(株)	
	6	〃	ニコニコのり(株)	
	7	〃	(株)天乃屋	
	8	賛助会員	小笠原特許事務所	
	9	〃	手塚 敏廣	
変 更	賛助会員⇒正会員	ライオン(株)		

## 平成 23 年度 会員数

		正会員	賛助会員	計
平成 22 年度末	会員数	1 3 7	7 3	2 1 0
平成 23 年度	入 会	1	5	6
	退 会	- 7	- 2	- 9
	変 更	1	- 1	± 0
平成 24 年 3 月 31 日	現 在	正会員 1 3 2	賛助会員 7 5	計 2 0 7

## 1 1. その他

1. 5月23日に第31回通常総会をメルパルク東京にて開催し、平成23年度事業を開始した。
2. 4月22日に平成23年度第1回理事会を、また5月23日には総会開催中に役員改選に伴う同第2回理事会をそれぞれ、メルパルク東京にて開催した。  
また、10月21日に、第3回理事会を長野県諏訪市で開催し、平成24年2月24日には、期中役員選任に伴う第4回理事会と臨時総会を日清食品ホールディングス㈱（イベントホール）にて開催した。
3. 平成23年度内部留保率は24.4%となった。（特許庁基準は30%）
4. 5月24日に開催された、当センター賛助会員である（業）高橋・林アンドパートナーズ併設の高橋雄一郎法律事務所が主催し、「韓国重要判例解説と実務上の対応」と題して開催された韓国の知的財産権に関連する主要判決例の紹介および商標出願実務を説明するセミナーに協賛した。
5. 8月24日に開催された、当センター賛助会員である（社）日本デザイン保護協会主催の、「①意匠審査基準の改訂について ②意匠保護を巡る国際動向について」と題する海外デザイン保護セミナーに協賛した。
6. 協和特許法律事務所・中国専利代理（香港）有限公司共催で、中国国家知識産権局の審査官を招いて9月20日に開催された、「日中バイオ特許セミナー2011」を後援した。
7. 平成24年2月17日に開催された、当センター賛助会員である（社）日本デザイン保護協会主催の、「デザイン保護のための集中講座」と題するデザイン保護セミナーに協賛した。
8. 一般社団法人への移行に伴い、平成20年会計基準への対応が義務付けられ、事業別の会計管理が求められるなど、迅速かつ正確な会計管理が必要となるため、会計ソフト（『P C A 公益法人会計 V. 11』）を導入し、経理業務の電子化を進め、合理化を図ることとした。

以上